

# 議会を傍聴 しませんか

3月定例会議会の日程は、  
右のとおり予定しています。

## 3月定例会議会

- 2月21日(金) 議会運営委員会
- 28日(金) 本会議(初日)
- 3月11日(火) 代表質問
- 12日(水) 個人質問
- 19日(水) 建設厚生常任委員会
- 24日(月) 総務文教常任委員会
- 27日(木) 本会議(最終日)

# ☆大阪狭山市 議会 我だより

—編集・発行 議会だより編集委員会—

- 代表質問……………②
  - フロンティアネット(西野 栄一)
  - 政友会(山本 尚生)
  - 公明党(片岡 由利子)
  - 日本共産党議員団(藤田 育子)
  - みらい創新(鳥山 健)
  - 新風会(諏訪 久義)
- 個人質問……………⑥
  - 北村 栄司(日本共産党議員団)
  - 徳村 賢(公明党)
  - 林 憲一郎(みらい創新)
  - 小原 一浩(新風会)
  - 中井 新子(みらい創新)
  - 丸山 高廣(フロンティアネット)
  - 松尾 巧(日本共産党議員団)
- 議会改革……………⑨
- 委員会審査のあらまし……………⑩
- 表紙写真の募集……………⑪
- 議決結果一覧……………⑪
- 議会報告会のまとめ……………⑫

### カワセミ

(昔は水辺では普通に見られたそうですが、今では大阪府の準絶滅危惧種。大野西の穴地蔵<sup>あなじぞう</sup>付近の溜池<sup>たらいけ</sup>にて。)

# ▶ 平成26年5月6日(火) ▶▶▶ 議会報告会を開催します!

### 開始時間と開催場所

- 午後3時から：市立コミュニティセンター
  - 午後7時から：SAYAKAホール
- 詳細につきましては、議会ホームページなどでお知らせします。

## 代表質問 フロンティアネット 西野 榮一

### 人・まち・社会の 健康づくりについて

**問** 第75回全国都市問題会議に出席し、健康づくりについて講演を聞いた。主報告では、大分県大分市は少子高齢化や人口減少を見据え、自助・共助・公助による施策の推進から市民協働による健康づくりに取り組んでいる。新潟県見附市は、健康推進員など健康づくりの担い手を育成することにより健康の環境整備に努めている。両市の共通点は、行政と市民が一体となり、自主的に事業の展開を図っている。

本市も健康づくりについて、これらの先進事例を参考に取り組むべきと考えるが、見解を伺う。

**答** 本市は、平成21年3月に新健康大阪さやま21計画を策定し、取り組んでいる。市民が自発的に継続して健康づくりに取り組むには、地域のリーダーが必要となる。新健康大阪さやま21の第2次計画の推進委員会の中で、先進事例も参考に取り組んでいきたい。

第75回全国都市問題会議  
(平成25年10月10日・11日)  
開催地・大分県大分市



### 財政健全化フレームと 市長のマニフェストの進捗について

**問** 危機的な財政運営を打開するため、今回で5回目の財政健全化フレームが示された。財政運営フレームを見る限り、市税減少などにより今後も厳しい財政運営が引き続き求

められる。今回の財政健全化フレームと残り1年半の市長マニフェストの進捗について、見解を伺う。

**答** マニフェストについては、消防の広域化を除き、ほとんどが目標通り達成できた。このフレームでは、平成26年度は財政調整基金の取崩しが考えられるが、平成27年度以降は公債費が減少し、黒字を見込んでいる。今後も気を緩めることなく市政を運営していきたい。

### 家庭教育支援条例の制定について

**問** 子育ての悩みを抱える親も多く、家庭教育支援は地域におけるケアの一つである。昨今の社会情勢にあつて、学校、地域、家庭の連携の必要性が理解しても具体策がないのが現状である。そこで、家庭教育支援条例の制定を提案するが、見解を伺う。

**答** 近年、少子化、核家族化、地域の希薄化などにより家庭の教育力の低下が指摘されている。この状況下で、家庭教育の責任と役割を認識する上で、条例化も一つの方策である。しかし、条例制定は、家庭、学校、地域の責任が明確化される一方で、ひとり親家庭や子育てに困難さをかかえている保護者にプレッシャーになる。子どもや保護者へのサポート体制を充実させることで、家庭の教育力支援に努めていきたい。

### 監査委員監査について

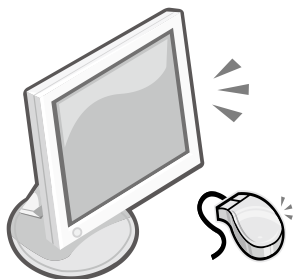
**問** 監査は、監査委員監査の機能と役割の明確化が求められ、重要な任務である。そこで、外部監査など監査のあり方と監査委員の定数について、見解を伺う。

**答** 外部監査については、現在、導入団体が少なく、今後の推移を見ながら監査機能の強化に努める。監査委員定数については、現時点では現行通りで問題がないと考えている。

# 一般質問

質疑内容は各議員が作成し、抽選により決定された質問順序のとおり掲載しました。

## 本会議録画映像 ⇒⇒ 配信中!



本会議での様子インターネットで録画放映しています。(生中継ではありません。録画した映像を1週間程度で編集し、配信しています。)

大阪狭山市議会のホームページからアクセスしてください。

## 代表質問

政友会

山本 尚生 ひさお

### 新財政運営フレームと市政運営

**問** 市政運営の基幹の一つである新財政運営フレームが示された。今までよりは改善されるようだが、経常収支比率は厳しい水準で推移するように思われる。来年度からの消費税のアップや訪問介護などの市町村事業への移行など、国の政策の影響をふまえ、新財政運営フレームと市政運営について、市長の考えは。

**答** 税収は毎年減少しているが、平成26年度からは緩やかに伸びると予測している。地方消費税交付金は消費税の引上げで増収となる。反面、地方交付税は減少する。扶助費は国の社会保障制度の見直しにより市の負担が増えることも考えられる。国の動きを注視していく。

今後は、防災・減災の事業や学校の大規模改修工事など、喫緊の課題にも財源を捻出する必要がある。子育て環境や教育環境の充実、福祉のネットワーク構築にも取り組みたい。

### 公立小中学校の9年間を見通したカリキュラムの編成

**問** 国際化に対応するために、英語教育は、2020年度には開始時期を3年生に早め、教科化し、読み書きも指導する。英語教育だけでなく、国語、算数・数学など、他教科の充実も図る必要がある。また、小中学校の円滑な接続をめざすためにも、9年間を見通したカリキュラムによる教育が必要と思われるが。

**答** 小中学校合同の習熟度別指導実践研究会など、小中学校の教員が9年間の一貫性を意識し、共通の学力観や指導観を持つことができるよう努めている。義務教育の9年間で、児童生徒に生きる力の育成を図るた

めには系統的・継続的な学びを踏まえ、これまでの取組みをより充実させ、現在作成中の教育振興計画の中で検討しながら、9年間を見通したカリキュラム編成の研究を進めたい。



### 24時間循環介護サービスの実施

**問** 介護が必要になっても、住み慣れた家庭で、できる限り生活ができるよう創設された24時間対応の介護保険サービスが普及してない。本市の状況と取組みは。

**答** 実施事業者の採算性の問題や看護師等の人員確保の問題などにより、実施事業者の参入がない。本市も事業者募集をしたが、現在まで実施事業者はない。今後、利用者ニーズの把握を行い、参入可能事業者への情報提供を行い、引き続き事業者確保に向けた取組みを進めたい。

### 個人情報の管理

**問** 平成23年に発生した逗子ストーカー殺人事件では、容疑者が被害者の住所を市から入手したとされる。本市は全国で一番早く、本人通知制度を実施するなど、個人情報の管理には十分に対応していると確信しているが、本市の状況と取組みは。

**答** 平成25年4月から弁護士資格を持つ職員を採用し、個人情報保護を含め、市職員の法令遵守向上のための職員研修を計画的に実施している。今後は、事例演習を取り入れた研修の実施や電算システムなどのセキュリティ対策の徹底など、積極的に個人情報の保護・管理に努める。

## 代表質問

公明党

片岡 由利子

### 子ども子育て支援法の 本格施行に向けて

**問** 平成27年10月の実施をめどに準備を進めているこの支援法によって、待機児童の抜本的解消と質の高い幼児教育を受けることができる。次の3点について、取組みを伺う。①本市アンケート調査結果及び今後のスケジュールについて。②3歳からの幼稚園教育を必要としている子どもに保障されるべき学校教育について。③私立幼稚園、こども園との公私負担格差について。

**答** ①本年3月末に本市の教育、保育などの必要量を確定させ、9月に必要量に対する確保方策を決定する。平成27年3月までに子ども子育て支援事業計画を策定する。②市外も含めて、幼稚園や認定こども園の中から施設を選択して契約する。③基本部分の保育料は、共通の給付制度により、保育所と同様に負担能力による違いはあるが、公私による違いがなくなる。



**問** 民間幼稚園と公立幼稚園の費用負担の格差がなくなり、3歳から1日4時間の幼稚園教育を望む児童は、市外の民間幼稚園やこども園への選択しかなく、ますます市外への流れができてしまうと危惧する。市内の3歳以上の幼児教育受入れ施設について、今後どのように考えているのか。

**【答】** 保護者のニーズによって、認定こども園への移行、転用が必要となる。市立幼稚園を維持する場合には、どのような役割を担っていくのかを検討し、3歳児の受入れについて、方向性を出したい。

### レセプト・健康情報等を活用した データヘルスの推進について

**【問】** 広島県呉市では、国民健康保険加入者のレセプトのデータベース化を行い、患者が処方された医薬品や診療内容を把握し、独自に分析の上、ジェネリック医薬品の利用促進を図った結果、削減額累計で5億円を超えた。保健師や看護師による「訪問指導」や糖尿病性腎症の重症化を予防する事業にも力を入れている。本市の取組みを伺う。

**【答】** 現在、国民健康保険のデータベースシステムが構築され、平成26年度から稼働する。今後は、情報を活用し、保険事業の充実を図る。

### 公共施設白書の策定を

**【問】** 今後20年、30年先を安心して暮らすことを可能とするために、現状を把握できるデータ報告書である公共施設白書の策定に向けて取り組むべきと考える。見解を伺う。

**【答】** 必要になると考えている。今年度末に国から示される固定資産台帳の整備指針の内容に留意し、整備を進める。

### 道路交通法施行規則の一部改正の 施行について

**【問】** この改正により、運転免許を取得されていない方も多く利用する自転車走行における具体的な反則事例の周知は、喫緊の課題である。

**【答】** 自転車が通行できる歩道については路面標示で周知し、学校や自治会等へ出向き、講習を実施するなど努力する。

## 代表質問 日本共産党議員団 こもだ 育子

### 秘密保護法について

**【問】** 安倍内閣は国民の過半数が法案に反対、8割が慎重審議を求め、わずか1箇月、60時間の審議で強行採決を行った。秘密保護法の危険な点は、①何が秘密かあいまいで、国民に知らされていない。②漏らすことも聞き出すことも禁止。報道、取材の自由についても保障でなく配慮に過ぎない。③国会議員でさえ5年の懲役刑。国権の最高機関の国会が行政庁の監視下に置かれること。④秘密保護法で国民の目、耳、口をふさいで国民の批判を封じ込め、集団的自衛権の行使を容認し、日本を海外でアメリカと一緒に戦争する国に作りかえていこうとしている。国民各層に反対する声広がっている。国民主権と言論表現の自由をはじめとした基本的人権の保障、平和主義という侵してはならない日本国憲法の基本的原理を根底から覆すもの。秘密保護法案についての見解は。

**【答】** 問題は秘密の範囲。決めるのは政府でなく第三者機関がチェックできる体制を整えることが鍵とされている。

### 本市にも市民にも大きな影響を与え る介護保険改定案について

**【問】** 要支援1・2の訪問介護と通所介護を介護保険から外し、市町村へ事業を丸投げ、特別養護老人ホームへの入所を原則介護3以上に。一定の所得以上は利用料1割から2割へ引上げ。非課税の場合、補足給付の縮小等、介護保険の従来のあり方を大きく塗り替え、国の責任を後退させ、利用者、家族、介護労働者に重い負担と痛みを強いる大改悪案が進められている。高齢者が増加し、

公的介護の役割がより重要になると、今回の改悪案は逆行している。介護を受ける人も支える人も安心できる介護制度の確立に転換こそすべきだ。見解を伺う。

**【答】** 利用者や市町村に非常に大きな影響が出る。要支援者の給付を全て従来どおり保険給付として行うことや利用者の利用負担などについても十分な配慮を行って実施するなど、引き続き大阪府市長会などを通じ、国などへ要望する。

### 若い人が住みやすいまちづくりを

**【問】** 総合計画の中でも、高齢化率が高くなる中、若い世代を多く迎え、次世代につなげていくことが必要である。元気なまちづくりのために大切な課題である。若い世代が住みやすいまちにするには、子どもを産み育てるよい環境づくりが大切と考える。本市の見解は。

**【答】** 子育てに優しいまちづくりは、本市の3つの施策の1つの柱と位置づけている。子育て施策をはじめ、子どもから高齢者まで、すべての人に優しいまちづくりを推進していく。



### 生活環境と安全を守るために

**【問】** 天野街道に隣接した住宅地でカメムシの大量発生とマムシが出たため、子どもの安全が心配との声が出ている。広い法面一面に生い茂ったクズの葉の草刈りを求める。

**【答】** 効果のある7月頃に行く。安全に気をつけ、事前告知や周辺環境へ悪影響を及ぼさないよう注意する。

## 代表質問

### みらい創新

鳥山

たけし  
健

#### 中学校の授業改革と 自尊感情を高める具体策を

**問** 本市の小・中学生の学力テスト結果は中学国語を除き、全国平均を上回り、大阪府内で上位。中学生の授業参画意識と授業内容の乖離<sup>かいり</sup>が見られるので授業改革を。自分に良いところがあるとの回答が低いが。

**答** 公開授業など年間194回の授業研究、先進地視察等で積極的な授業改革の取組みも出てきた。認められることが多いほど肯定的な自己概念が形成されるため、中学校評価検討委員会を設置し、取組む。

**意見** 公開授業等を視察して、若い教員の授業研究・工夫を強く感じた。中学生にも授業参画意識の変化があるので、授業改革を進めて。私の目標は、学ぶ力・心・体で人格形成を図る大阪府内一番の教育。育ちの途中にある児童・青少年への地域における肯定感ある教育コミュニティの醸成が、次へのステップアップになる。市教委発行の「<sup>そったく</sup>啐啄」を多くの市民に配布し、市長や議員も教育状況を市民に伝えていこう。本を読んでほしい、自分の考えを皆に話せる力を持たせたいと、各地の図書館・学校でビブリオバトル(書評ゲーム)が広まっているので、検討を。

#### まちづくり大学の充実を

**問** 他市では学習効果重視の取組みや起業コース設置の動きがある。大学受講生等が先進事例を学ぶ研修補助金の仕組みを設けては。

**答** 他市の研修会等に参加できるよう、受託者と検討する。

#### 「狭山池1400年」の組織設置を

**問** 市単独の事業でなく、関係す

る狭山池下流域の団体・大阪府等で構成する組織を至急に設置すべき。

**答** 一体となり推進する連絡調整組織を平成26年1月には設置する。

**意見** 地域経済や市民文化を元気にする気概で取り組むことが肝要。

#### 山本テニスコートの改修を

**問** 人工芝が磨耗。部分補修では、高低差・靴裏の感触の違いが滑りとなり怪我をしている模様。市民が安全で安心して利用できる施設であることが必要条件と考えるが。

**答** 指摘は理解し、計画的に実施。



#### 姉妹都市40周年の現状と今後

**問** オンタリオ市で新たに姉妹都市委員会が結成され、市民が軸に両市の交流を高めるものとする。本市の関わり方も検討するときとの意見がある。①留学支援プログラム、②国際交流員招致を提案するが。

**答** ①交流事業の一つに位置づけ、都市間市民交流協会と協議・調査する。②本市の施策に合った任務と有り方を先事例も調査し、検討する。

#### 市街化調整区域を活かすには

**問** 山本地区では高齢化が急速で、地域の維持すら不安との声がある。特に本市の市街化調整区域の区分け自体が必要か、地元の意向を確認し、大阪府に規制緩和の要請を。

**答** 弾力的な区域区分変更など、土地利用の規制緩和等を調査研究し、大阪府に働きかけていく。

**要望** 東池尻地区でも要望がある。

## 代表質問

### 新風会

諏訪 久義

#### 財政運営フレームの策定等について

**問** 本市は、行財政全般にわたって積極的に点検を行ってきた。過去の成果をみると、経常収支比率の悪化等で財政運営フレームを策定し、財政健全化に向けた努力により、経常収支比率などを改善させてきた。

平成15年8月には財政健全化の基本視点と財政健全化フレームを策定し、財政健全化指標を設定した。

平成14年度に99.2%であった経常収支比率は、財政健全化に向けた努力により、平成15年度に96.3%、平成16年度94.9%、平成17年度95.5%と改善されたが、平成18年度に98.8%に悪化した。

平成19年12月、今後も持続可能な財政運営を行っていくため、以後10年間の財政見通しなどを明らかにするものとして、財政運営フレーム(普通会計)が策定された。その後、経常収支比率は平成19年度96.5%から平成20年度94.8%に改善した。

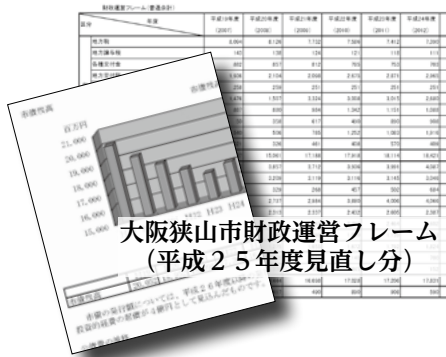
平成20年、日本経済が大きく落ち込んだ状況を反映して、本市の税収が大きく減少することが予測されたため、平成21年9月、財政運営フレームの見直しを行った。

その後、経常収支比率は平成21年度97.8%から平成22年度93.2%、平成23年度94.5%と改善したが、平成24年度98.7%と再度悪化した。

今回、新たに策定されたフレームを踏まえ、今後、厳しい財政運営を余儀なくされると思われるが、来年度の予算編成をはじめ、その方向性についての考えを伺う。

**答** 平成26年度は財政調整基

金を取り崩して予算編成する必要があるが、公債費負担が減少する平成27年度以降は基金を取り崩さずに黒字決算できる見込みである。国の税制改正、社会保障改革などの影響など、不透明なところもあるが、創意工夫により市民ニーズに応えられる持続可能な財政運営に努めていく。



### 内部統制の確立について

**問** 近隣自治体で職員により公金が着服された。ある県の厚生年金基金では、ただ1人に管理を任せきりにして、20数億円の損失が発生したと報じられている。チェック欠如の怖さを知らされる。本市も公金詐欺事件の一番で本市の主張の一部が否認され、250万円強の債権が宙に浮いている。裁判費用も少なからずかかっている。本市は内部統制システムを試行的に導入した。上司の範囲については、ダブルチェックの必要性を考慮し、執行における直接の責任者のみならず、さらにその上位の監督責任についてもそのあり方を検討し、仕組みを改善する必要があると考えるが、本市の見解を伺う。

**答** 業務を迅速かつ効率的に執行するためには、決裁権者を現場に近いところに下し、権限を委譲することが適切と考える。現在は担当グループにおいてリスクを抽出し、その対応を考えるようにしているが、今後は、統制活動が適切に機能しているかをチェックする体制の構築を検討しており、より実効性のある仕組みに改善していきたいと考えている。

## 個人質問

北村 栄司

### 副池公園内の木製の橋について

**問** 去る12月2日の早朝、散歩をしていた方が、橋の表面が凍っていることに気づかず転倒。近くの方に助けられた。助けた方は、早くから修繕を市に要望してきたが進まず、やっとの修繕がコンパネ板の張りつけ。雨が降れば数日間も雨水が溜まり、冬場には危険と思っていたそうである。当日の昼過ぎに現場へ行ったが、下図のとおりであった。緊急対策と抜本改修の予算化を求める。

**答** 経年劣化で痛みが激しく、コンパネ板を張り踏み抜き対策を行った。水抜き穴を複数開けていたが、土などで詰まり水はけが悪くなって滑りの原因となった。大変申し訳なく思っている。早急に水抜き対策や滑り止め加工を行う。根本的な対策としての予算化にも努力する。



### 狭い旧高野街道の通学路の安全対策を要望

**問** 現在、商工会館前から北への進入は朝7時から9時までの通行時間規制がされているが、国道310号の池之原北交差点から旧高野街道への規制も保護者から要望がある。

**答** 黒山警察署と協議したところ、通行規制に伴う迂回への地域同意などが必要。調整の上で、要望があれば検討できるとのことである。

### 中小業者支援と地域活性化対策とし

### て、住宅リフォーム助成を要望

**問** 今まで十数回、市に求めてきた。市は木造住宅耐震改修補助制度や要介護者等の居宅での段差解消等、住宅改造に対する補助制度を継続・充実すると答えてきた。しかし、平成24年度耐震改修工事実績は市内業者がゼロ、介護関係でも約6割程度である。藤井寺市の住宅リフォーム助成制度での市内業者の実績は大きいものである。地域経済活性化対策として検討を求める。

**答** 住宅リフォーム助成は、現在は考えていないが、耐震・介護関係など、市内業者に限定する点は、検討する必要があると思っている。

## 個人質問

徳村 賢

### 生活困窮者自立促進支援モデル事業について

**問** 近隣市で生活困窮者自立促進支援モデル事業に取り組んでいる自治体がある。本市においても、国の補助事業である本モデル事業を利用し、生活困窮者が生活保護に至らないよう早急な支援が必要と考える。

**答** このモデル事業は、必須事業と任意事業がある。他市のモデル事業の実施状況を参考にしながら、新制度による事業を市直営で行うのか、他団体へ委託して行うのか、また、任意事業については、どこまで実施できるのかなど、本市の実情に合った支援体制の構築に向け取り組む。

**要望** 生活困窮の状況はさまざまである。早期の支援体制構築を要望する。

### 「胃がんリスク検診」導入について

**問** 胃がん撲滅のため、胃がんリスク検診制度を提案する。

**答** 国が示す胃がん検診ガイドラインが今後更新され、ピロリ抗体検

査や胃内視鏡検査の有効性が認められ、新たに胃がん検診として推奨すると判断された場合には実施を検討したいと考えている。

**要望** 本検診は、胃がんそのものの診断ではなく、胃がん発症リスクの検査である。リスクの高い人に対して、ピロリ菌除菌や定期的な精密検査を推奨するものとする。今後の本リスク検診の検討を要望する。



### 歩道整備について

**問** 歩道が狭い箇所や段差になっている箇所が多く存在する。子ども、高齢者、障がい者の転倒などの危険性も増す。歩道の点検整備、維持管理、今後の計画などについて伺う。

**答** 段差状況や狭隘箇所、バリアフリーの現状調査と舗装の状況調査を実施している。歩道整備は、調査結果により、順次、段差解消及び補修を実施。今後も通学路をはじめ、市民が安心して歩道を利用できるよう引き続き点検に努め、段差解消や舗装の補修等の整備を行っていく。

### 個人質問

林 憲一郎

#### 市費による非常勤講師増員について

**問** 教員数は、大阪府費によりクラスの数によって決められている。それゆえ、近隣他市などでは、市の予算で非常勤講師を雇ったり、市民や学生のボランティア先生を取り入れたりした活動をされている。教員の人数が多ければ、より多くの指導

が可能となるが、見解を伺う。

**答** 担任が保護者とじっくりと向き合う時間を確保するために非常勤講師等を配置し、担任の授業時数を軽減することも1つの方法であると考えられる。教育委員会としては、どのような人材の配置が学校の問題対応力の向上につながるかを検討しながら、子ども一人ひとりに教員がより一層深くかかわることができる学校体制づくりを推進する。

**要望** 多くの人材が学校に増え、子どもたちが多くの人と接し、より深く教員とかかわれるよう、また、子どもたちの学力格差が少しでも抑えられるよう要望する。

#### 一時避難地について

**問** 避難所運営については市が中心となり、学校等の施設管理者、自治会、自主防災組織等の間で、日頃から協力関係を構築し、一時避難地への避難に必要な南京錠やナンバーロックの番号を一定知らせておく必要があると考えるが、見解を伺う。

**答** 内閣府の防災担当が昨年8月に策定した「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」で、地域住民等関係者又は団体として活動されている組織と、避難所の鍵の管理や避難所の開設方法について事前に取り決めておくことが示された。この指針を踏まえ、今後とも教育委員会などと協議を進める。



**要望** 子どもたちの安全を守るためのナンバーロックであるが、緊急時は大人も子どもも命を守らなければ

ならない。「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」に基づき取り組まれ、南京錠やナンバーロックの番号が知らせることができるよう要望する。

### 個人質問

小原 一浩

#### 白馬事件処理について

**問** 元職員の地裁の判決と、当人の出所後の回収の成果について伺う。

**答** 一部勝訴、一部敗訴の結果のため、大阪高裁に控訴。残額の返還請求は、担当弁護士と現在調整中。

#### 狭山池を世界遺産とする

##### 活動について

**問** 韓国金堤市との「親善及び相互協力意向書」は、姉妹都市提携と同じではないか。金堤市と一緒に世界遺産の登録をめざすのなら、事前に調査チームを設置すべきである。

**答** この意向書は、姉妹都市提携とは異なる。同じ東アジアの水利灌漑施設として、同時に世界文化遺産登録をめざすに当たり、いくつかの段階を踏んでいかなければならない。



#### 葬儀会館「TEAR」について

**問** 南海電鉄が強引に開業して丸2年が経過。引き続き指導していきたいとの回答だったが、その後の本市の行政指導はどうなっているのか。

**答** 南海電鉄から周辺の駐車場の契約に至っていないとの報告があり、今後も誓約書に基づく周辺での駐車

場の確保について指導していく。

### オンタリオ市との姉妹都市について

**問** 本市が積極的に関与する具体的な方策が必要と考える。また、毎年、大学生等を派遣しているが、その選考方法や派遣条件について。

**答** 今後も都市間市民交流協会の取組みを支援していく。学生派遣については、今年度も協会が公募し、13人の中から5人が選ばれた。

**要望** 今後は、ITなどを駆使して、小・中学生など幅広い世代の交流を考えてはどうか。選考する際には、渡航費用への助成を考えるべき。

### 市職員の給与などについて

**問** 国家公務員給与は7.8%削減がされ、本市職員給与は未実施だ。

**答** 地方公務員給与は、地方公務員法により個々の自治体の条例に基づき、自主的に決定されるべきもの。

### 個人質問

中井 新子

#### 生活困窮者が

#### 安心して暮らせるために

**問** (仮称)生活困窮者自立支援法が2015年4月1日から施行される予定である。来年度、消費税も5%から8%に引き上げられるなど、市民を取り巻く環境は厳しいものがある。「真面目に働いても生活ができない」など、ワーキングプアの若い人が増え、結婚もできない状況がある。本市の2012年度の生活保護世帯数は551世帯であり、また、生活困窮者は貧困や障がい・疾病等、複合的に絡み合っている状況がある。早急な支援の必要性和誰もが住みやすい地域社会の実現のため、①支援決定するための組織は。②総合的な相談窓口の一元化に生活困窮者支援を含めて欲しいがどうか。③任意事

業は生活困窮者の課題に対応するために必要と考えるがどうか。

**答** ①他市のモデル事業の状況を踏まえ検討していく。②高齢者・障がい者・子どもに関する福祉総合相談窓口として整備するが、生活困窮者支援を含めていない。③他市のモデル事業を参考に検討する。

**問** ①支援決定の組織は。②複合的な課題をもつ生活困窮者は福祉総合相談窓口では対応しないのか。

**答** ①自立相談支援機関が中心となり、市・社会福祉協議会・事業者等で支援調整会議を行う。②相談窓口から必要な部署へつないでいく。

**要望** 生活困窮者の課題解消に向けて関係機関などと横断的に取り組んでいただきたい。

### 定年退職後のシニア男性の 子育て支援について

**問** 認定子育てサポーター(46人)は、地域の子育て家庭を支援していただいている。地域には定年退職後のシニア男性もたくさんおられることから、研修後認定し、放課後児童会などで協力いただけないか。

**答** 放課後の児童の「さやま元気っ子」事業を他小学校にも拡大を予定している。定年後のシニア男性に協力いただきたいと考えている。



### 個人質問

丸山 高廣

#### 見通しの良い公園について

**問** 低木の高さを人の視角よりも

低く、高木の樹冠を人の視角よりも高く剪定すると見通しの良い公園となると考えるが、見解を伺う。

**答** 樹木の下枝の剪定による見通しの確保や生垣の高さを下げるなど、公園内への見通しをよくする剪定を試験的に実施している公園もある。

今後の維持管理では、その方向で樹木の剪定等を行いたい。

### 市立コミュニティセンターについて

**問** 一部の学生が、大声で話したり、ゴミを散らかしたり、各階をふらふらしたり、迷惑をかけている。

公共の場であるコミュニティセンターについて、見解を伺う。

**答** 市と学校、教育委員会等の関係機関や地域との連携を図り、対応に努める。

### 子どもの紫外線・熱中症対策

**問** プールサイドや校庭に遮光ネット、窓ガラスのUVカットガラス化、避暑用のテントの設置、ミストシャワー等の設置や紫外線防護グッズの推奨などについて、見解を伺う。

**答** 既に、小・中学校プールサイドには日よけテントを設置し、幼稚園・保育所では、園児らを木陰に入れるなどで対策している。窓ガラスのUVカットガラス化は、南面に面した箇所を大規模改修時や割れた場合には設置したい。校庭の遮光ネットは、ボール遊びや風圧などから設置は難しいが、避暑用のテントやミストシャワーの設置等は検討したい。

日常生活の中で取り入れやすい予防対策を徹底したい。

### 病児保育について

**問** 医療機関や教育機関と連携し、本市での保育支援として実施することが必要と考えるが、見解を伺う。

**答** 当面は、現在の病後児保育を継続し、新たに小児科医院が開設さ



れる等、今後の状況変化により課題が整理できたときには、病児も含めた事業へ移行したい。



個人質問

松尾 巧

住み良いまちづくりのため

住宅開発等に関し市の指導強化を

**問** 近年、住宅開発が進み、区域内は整備されているが、接続道路が狭いとか、交通安全面で改善を求める声を聴く。①道路の拡幅や新設、角きり等の実施。(南青少年広場の南の開発予定地は幅員が狭い、東池尻2丁目の開発予定地は接続がカーブした箇所で危険) ②信号機、カーブミラー、防犯灯(LED化)設置など。今後の指導強化と対応を伺う。

**答** ①許可基準はクリアしていても、交通量の多い現状では既存の道路に負荷が掛かっている。開発指導要綱等で開発区域内・外の交通安全対策を協議し、事業者の協力を前提に指導している。②協議時にカーブミラー、防犯灯等、適切な整備を求めている。基準を上回る周辺の整備は、今後、市と事業者の協議方法や負担のあり方等、調査・研究する。また、粘り強い指導に取り組む。



この先の開発予定地との接続道路はカーブしていて危険。

防災対策として雨水対策の強化と緊急地震速報の改善を

**問** 最近の天候は異常で、豪雨により各地で被害が出ている。①太満池の南や南海電鉄高架下、大阪狭山市駅南の踏切から南に50メートル、金剛2丁目T字路などで浸水が予想される。今後の対策・対応を伺う。②緊急地震速報(Jアラート)の訓練放送が「聞き取りにくい」との声がある。改善・工夫を。

また、各自治会・自主防災組織に速報が伝わるシステムを構築してはどうか。

**答** ①地形的に低く、雨水が集中する箇所は、降雨前と降雨時に側溝、水路、ため池などの清掃と点検を重点的に行っている。降雨量を注視し、土嚢を設置する。また、抜本的な対策が必要な箇所は、長期的になるが、調査し、順次整備する。②緊急速報は市民から「聞き取りにくい」との電話等があり、スピーカーの増設や向きの調整などをしたが、効果は難しい。災害情報が一斉送信される防災メールへの登録促進や市内に緊急速報メールの一斉配信も考えている。

議会改革

市長の専決処分事項の追加を決定

昨年7月以降、「専決処分の取扱い」を継続して検討を進めてきました。

本市議会では、昨年5月から『通年議会』を実施しているため、地方自治法第179条第1項の規定に基づく市長の専決処分は原則として出来なくなっています。しかし、こうした状況においても、今後の市の事務事業の遂行には専決処分を必要とする場合も想定され、これに対する要望が市から出されていました。

本委員会では、その内容について、市の担当の説明を求め、委員間で議論した結果、地方自治法第180条第1項の規定による市長において専決処分ができる事項として、次の3点の内容を認めるものとしました。

- ①会計年度末における決算収支を見通した中で、客観的に軽易な予算調整のための歳入歳出予算の補正をすること。
- ②会計年度末における法律等の改正に伴う必要な条例改正を行うもの。ただし、原則として市の裁量の余

地のないものに限るものとする。

③解散、欠員等の事由に基づく選挙で、緊急を要する選挙費の歳入歳出予算の補正をすること。

本委員会での決定を受け、昨年12月20日の本会議において、これら事項の指定に係る議案を全会一致で議決しました。

本市議会への行政視察が増加

昨年4月から全国的に先駆けて取り組んでいる『通年議会』をはじめ、本市議会の議会改革の取組みに対する他市町議会からの行政視察が増加しています。

行政視察受入状況

平成24年度実績：5件  
(議会関係0件)  
昨年4月から：13件  
(議会関係6件)

受入日	議会名(人数)	視察内容
5.21	北海道根室市議会 議会運営委員会(7名)	議会運営についてなど
6.25	栃木県真岡市議会 文教常任委員会(8名)	食物アレルギーに対応した学校給食について
7.12	滋賀県大津市議会(1名)	まちづくり円卓会議について
7.23	兵庫県南あわじ市議会 議会運営委員会(8名)	通年議会について
7.24	大阪府島本町議会(16名)	通年議会について
8.9	滋賀県米原市議会 健康福祉常任委員会(8名)	熟年いきいき事業の取組みについて
8.23	三重県鳥羽市議会 議会運営委員会(7名)	通年議会について
8.28	青森県五所川原市議会 総務常任委員会(7名)	市民協働事業の推進について
10.7	長野県坂城町議会 社会文教常任委員会(8名)	熟年いきいき事業について
10.25	東京都小平市議会 総務委員会(9名)	住民参加による予算編成について
10.31	愛知県東郷町議会 文教民生委員会(7名)	熟年いきいき事業について
11.6	岐阜県多治見市議会 議会活性化研究会(8名)	議会改革と通年議会について
11.27	福岡県筑後市議会 議会運営委員会(9名)	議会改革全般についてなど

## 委員会審査の あらし

議案は常任委員会に付託され  
審査されました。  
主な内容は次のとおりです。

## 建設 厚生 常任委員会

### 可決 子ども医療費の助成に関 する条例の一部改正

**問** この条例は通院に係る医療費の助成を小学校3年生から6年生までに拡大するものであるが、本来なら国が制度化し、都道府県の助成も拡充すべきである。

本市も国や大阪府に、是非、働きかけてもらいたい。

**答** この制度も、国の子育て支援策、少子化対策として制度化されることが望ましいと考えているので、引き続き大阪府市長会などを通じて要望していきたい。

**要望** 大阪府の助成は2歳までで、全国最下位である。平成25年12月の大阪府議会では、知事が制度の拡充を検討していくとの答弁があった。拡充された場合、本市もさらに拡充を実施してもらいたい。

### 可決 平成25年度(2013年度) 下水道事業特別会計補正 予算(第1号)

**問** この補正は、三津屋川の老朽化に伴う工事の設計業務であるが、これ以外でも集中豪雨、ゲリラ豪雨などによって被害を受ける地域が多

くある。順次、計画的に雨水対策を強めるということであるが、その計画を前倒しで実施してはどうか。

**答** 雨水については、抜本的な対策が必要で、そのためには非常に多くの時間と経費がかかる。

効率的な雨水排水ができるよう、一日でも早く浸水箇所の解消に努めていきたい。

**要望** 抜本的な対策は時間も当然かかるが、是非、進めてもらいたい。

また、当面の対策についても、雨水桝を広げることで解消が見込まれるような箇所は、是非、進めてもらいたい。

### 継続審査 継続審査(通院も中学校 卒業まで「子どもの医療 費助成」拡充を求める請願)

**意見 採択** 今定例月議会で、通院に係る医療費の助成を小学校6年生まで拡大する条例改正をしたことに対しては、大きく評価したい。

ただ、近隣の市町村ではすでに実施しており、次の段階で中学校卒業まで拡大すると表明している。多くの保護者の望みであり、支持できるものである。

**継続審査** 平成26年4月から小学校6年生までに拡大されることは、大変喜ばしいことである。請願の内容は通院に係る医療費の助成を中学校卒業まで拡充を求めるもので、多くの保護者の願いではあるが、財源もさらに2,500万円程度が必要と言われている。

制度を拡充した場合の運営が可能かどうか、引き続き検討する必要があると思う。

## 総務 文教 常任委員会

### 可決 平成25年度(2013年度) 一般会計補正予算 (第6号)

**問** 子ども・子育て新制度で、学童保育の設備と運営に関して、市町村が条例で定めることになった。本市はどのように制定するのか。

**答** 厚生労働省が示すガイドラインに従った案が出ている。本市はそのガイドラインに基づいて事業を実施しており、その案を加味した上で制定するものと考えている。

**要望** 市民の要望や意見に沿ったもの、また、保育の実施責任を明確にしたものにしてもらいたい。

### 継続審査 継続審査 公立幼稚園の3年保育実 現を求める要望

**討論 採択** 3年保育は若い世代の方の願いであり、就園率の向上にもつながる。公の責任は果たすべきで、幼稚園教育を充実させる必要があると考える。

また、地域に根ざした公立幼稚園ならではの豊かな保育内容や自然環境を生かしながら、地域の中での触れ合いを大切に育ち合う地元幼稚園は本当に大きな価値がある。財政的にも難しいと感じるが、1園ずつ実施する方法でもよいと思う。

**不採択** 公立幼稚園の2年保育が3年保育になったからといって、3年保育の利用者は増えないと思う。

保護者が高い保育料を払っても私立幼稚園に行かせるのは、公立ではできないようなさまざまなサービスがあるからだと思う。民間でできることは民間という時代になっている。

また、財政面でも人件費の問題などがある。

## 議会 日誌

- 11月22日 議会運営委員会
- 29日 本会議(初日)
- 12月10日 本会議(代表質問)
- 11日 本会議(個人質問)
- 16日 建設厚生常任委員会
- 17日 総務文教常任委員会
- 20日 本会議(最終日)
- 市議会の会議録を  
インターネットで公開しています
- ◆◆大阪狭山市議会ホームページ◆◆  
[http://www.gikai-web.com/  
osakasayama/index.html](http://www.gikai-web.com/osakasayama/index.html)

**継続審査** ここ数年、不景気で母親が仕事に就くことなどから、保育園の充実が求められ、待機児童の解消に力を入れてきた。

この要望の主旨はよく理解している。子どもたちにとって、その成長に応じた健やかな育ちができる環境整備をしてもらいたい。幼稚園の充実については賛同するが、いろいろな角度から分析・検証が必要である。

## 議会だよりの表紙写真を募集しています！

- 平成26年5月1日に発行する議会だよりの表紙写真を募集します。市内で撮影されたものを題材としてください。  
※写真は応募者本人が撮影し、被写体の承諾を得てください。写真(画像)の著作権並びに被写体の持つ諸権利(特に肖像権)に関して、一切の責任を負いません。また、写真を必要に応じてトリミング(切り抜き)して利用することをご了承願います。
- 応募いただく写真については、デジタルカメラで撮影したJPEGデータのみ(フィルム写真での応募はご遠慮願います)とし、加工や合成されていないものとします。
- ファイルサイズ(容量)は、おおむね縦3,600ピクセル×横2,400ピクセル(おおむね600万画素以上)のものに限らせていただきます。
- 必ず応募者の住所・氏名・電話番号を明記のうえ、議会事務局までご応募ください。
- 写真(画像)データは返却いたしません。
- 応募締切日は、平成26年4月4日(金)とします。

## 12月定例会月議会で審議された案件と議決結果

議案名	会派名		公明		新風		政友		共産		フロンティア		みらい		議決結果			
	議員	名	片岡由利子	徳村賢	小原一浩	諏訪久義	西尾浩次	山本尚生	北村栄司	薦田育子	松尾巧	田中昭善	西野栄一	丸山高廣		鳥山健	中井新子	林憲一郎
議員提出議案	市長の専決事項の指定についての一部改正について		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
人事議案	固定資産評価審査委員会の委員(加藤慶子氏)の選任		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	同意
条例	子ども医療費の助成に関する条例の一部改正		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
	下水道条例の一部改正/水道事業給水条例の一部改正/水道事業分担金徴収条例の一部改正		○	○	○	○		○	×	×	×		○	○	○	○	○	可決
補正予算	(平成25年度(2013年度)) 一般会計補正予算(第6号)/ 下水道事業特別会計補正予算(第1号)/ 介護保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)/ 東野財産区特別会計補正予算(第3号)/ 池尻財産区特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	(議長につき、採決に参加なし)	○	○	○	○	(病欠欠席のため、採決に参加なし)	○	○	○	○	○	可決
請願	容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の採択を求める請願		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	採択
	継続審査(通院も中学校卒業まで、子どもの医療費助成拡充を求める請願)		△	△	△	△		△	○	○	○		△	△	△	△	△	継続審査
要望	公立幼稚園の3年保育実現を求める要望		△	△	×	×		△	○	○	○		△	△	△	△	△	継続審査
意見書	子ども医療費助成制度の拡充を求める意見書/容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決

※表の見方 『○』は賛成・採択、『×』は反対・不採択、『△』は継続審査

会派名及び議員名は、会派名とともに50音順。公明…公明党、新風…新風会、政友…政友会、共産…日本共産党議員団、フロンティア…フロンティアネット、みらい…みらい創新。

# 議会報告会

～まとめと、ご意見やご質問について～

平成25年10月19日に議会報告会を開催しました。市民の皆さまからいただいた意見は、これからのまちづくりや議会に活かしていきます。なお、この報告会で結論が出せなかった意見・要望については、市議会で情報共有しながら議論を深め、今後の対応が決定された段階で、あらためてお知らせします。結論を出すにあたっては時間を要する場合がありますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

## 第1部 議会の報告

9月定例会議の主な次の審議の内容について報告し、質問や要望を受けました。

- 平成24年度(2012年度) 一般会計決算・国民健康保険特別会計決算・介護保険特別会計決算・後期高齢者医療特別会計決算
- 市の財政指標・財政状況
- その他の議案
- 請願・要望

質問・要望など	回答・説明など
国民健康保険料の未納は市民に負担となっていないか。	間接的な影響があるかもしれないが、未納を減らすよう各議員も市に要望し、市も努力している。
締切り直前に請願書を提出したところ、その内容に反対する要望書が提出された。どのようにしているのか。	議員は、どのような請願書等が提出されたかを事前に知り得ることができる。締切り直前でも提出することができる。
小学校に設置されている防災用備蓄倉庫の中心について、先生に理解されていない。	自主防災組織と学校との連携について、教育委員会に確認する。
議員定数の削減によって、住民代表の機能の支障、住民自治の後退、住民サービスの低下などが挙げられているが説明してほしい。議員の数は多いのではないか。	議員は選挙で住民代表として選ばれるが、定数を削減すれば住民自治が後退するなどというものでもない。サービスを受ける側の市民の価値観により変わるとされる。人口規模だけでなく、行政として果たす役割などを踏まえ、今後も市民と意見を交わしながら考えていく。
後期高齢者医療保険料の過去滞納分に対する収納率が低く、未収額が大きい。	未収額は、現在のところは納められていない額と考えている。

## 第2部 市民との意見交換会

「子育てについて」を一つのテーマとしつつ、第2部の後半はテーマを設けずに自由に意見を述べていただき、活発な意見交換が行われました。

質問・要望など	回答・説明など
この報告会の開催にあたり、託児サービスの準備や開催日時も不適切ではないか。	今後、検討していく。
小学校の教室にエアコンの設置を。	議会の一般質問でエアコンの設置についてを取り上げ、求めている。
本市の待機児童は増えている。民営化が進んでいるところがあるが、できれば公立で対応してほしい。	できれば公立で対応したい。社会福祉法人が運営する保育園の開園で当面は待機児童がゼロになると思われる。待機児童については、今後も注視していく。
狭山池の世界遺産登録について、世界遺産にはならないと思っているが、市長は撤回されたのかどうか。予算も計上された。議会においても調査研究してほしい。	狭山池を外観的に判断して無理と言われることは理解している。市長から狭山池の現状などではなく、1600年前の工法が韓国金堤市などの灌漑施設でも用いられていたため、東アジアの稲作文化を共同登録することに意義があると説明があった。予算は国の史跡指定のためのものであり、世界遺産への方向を探ることができれば非常に夢のあることと、議会の大半が賛意を表している。
文化会館前の葬儀会館について、近接に駐車場が設置されず、市は営業を許可した。文化会館の駐車場を参列者が使っており、議会で取り上げてほしい。	市民からの意見については十分認識している。
中学校卒業までの子ども医療費助成拡充について、市長は前向きな回答だが、議員は安定的な財源がなければ難しいとのこと。市民の声に耳を傾けてほしい。	意見・要望として受け止める。 『委員会審査のあらまし』 10ページに関連記事
市の決算をチェックする中で、無駄遣いはなかったのか。	議会の一般質問で取り上げ、チェックしている。無駄遣いはしていないと思う。住民の要望にどのように応えていくかといった施策を提案することも大事と考えている。

質問・要望など	回答・説明など
2学期制について、教師が子どもと接する大切な時間を減らしているのではないかと、見直してはどうか。	2学期制が各地に広がったが、先生が多忙になったなどで3学期制に戻しているところもある。教育委員会は今後の課題として検討するとしている。
3年保育を試行実施できないか。3年保育を全幼稚園で実施すると、財政的な問題があるとの市の考えは。『委員会審査のあらまし』 10ページに関連記事	3年保育を求める要望も出ており、教育委員会から検討すると回答を得ている。予算の問題はあるが、今後も十分検討していく。
孤独死が増えており、1箇所しかない地域包括支援センターを増やせられないか。孤独死がなくなるよう、地域の人つながりに予算を使ってほしい。	民生委員は、以前は戸別訪問で情報を得ていたが、現在は市から情報を得ている。市も市民後見人制度などの取組みの努力はしているが、よく議論していく。
市庁舎耐震補強等工事に10億ほど必要と聞く。どこを削減して支出するのか。また、議員報酬などは関係ないのか。議員の心構え、市民に知らせる責任はどうか。	公共施設を順次、耐震補強している。他にも事業はあるが、どのように充実させていくかで予算を組んでいる。改選前から議員報酬を5%削減しているが、この削減と市の事業を進めることは特に関係はない。ただし、事業を行うにはお金が必要なので、議会も心構えはしている。
保育所(園)の入所決定はせめて1月末には知りたい。若い世代が本市に住みたいと思えるような環境作りが必要と考える。	入所決定を1日も早くして欲しいと聞く。議会も市へ要望しているが、入所決定を早めるよう要請し、努力する。
議員の目線・考え方・議論が市民感覚からずれていると思う。現在の議員数まで減ったが、いろいろな意味で支障は出るといわれていたが出ていない。議員の考え方を変えていかなければならないと思うが。	定数は何名が良いかは手探りだが、市民の要望を聴き、行動していくことが大切だと思う。また、定数は市民の意向で決めるべきで、今後も議会報告会などを通じて、意見を聴きながら議論していくべきと考えている。
現在進められている議会改革に目標の期限がない。議会基本条例の制定を目標に掲げて進めてはどうか。	議会基本条例については、通年議会や議会改革特別委員会に関わった中で議論しているので、議会として議論する。